

青梅第四小学校授業改善善特別支援教室ひまわり

| | 月7日(金)3・4時間目 ランチルーム

自立活動 (小集団) 「伝言ミッション」

本時のねらい

☆友達と話し合いをして伝言ができるように考えることができる。 ☆活動を楽しむことができる。

指導項目(特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編より)

3-(4) 集団への参加の基礎に関すること 6-(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること

本時のこだわり

- 児童が楽しめる活動の設定
- 話し合い活動の活発化させるように相談することの明示化

段階	学習活動	指導・支援(○) 評価(☆)
	I. 声のものさしに合わせて「こんにちは」と声の大きさを調	〇声のものさしを掲示して視覚的
	整する練習する	に感覚を捉えやすくする。
	2. 活動名と<やること><ルール><マナー>について確認す	○ホワイトボードを使って児童の
	న	実際の動き方が分かりやすいよ
		うに図に表して説明する。
	活動名『伝言ミッション』	
	〈やること〉	OT2、T3、T4 の教員でモデリン
	1. 声のものさし	グ(実演)を行い、言葉遣いに気
	2. ルール説明	を付けることと声の大きさを意
2*	3. 作戦タイム	識することを指導する。
導入	4. 伝言ミッション	
	<ルール>	
	① 1番の人が伝える数をきめる(1~3こ)	
	② 順番に伝える	
	③ 最後の人はボードに書く	
	④ たくさん伝える(3分)	
	・『I』の声で伝える	
	・聞き返してよい	
	<マナー>	
	やさしい言葉を使おう	

3. めあての確認をする

たくさんつたえよう



4. 作戦タイム【伝えたい】 3分間 相談すること

・順番

C: 最後の人はボードに書くから高学年に任せよう

・伝える数(一度に伝言する語数)

C: I こにしてみんな大丈夫そうなら、声を掛けて2こにし よう

C:2こは難しいから I こずつにしてほしい

・作戦、伝わる工夫(はっきり、ゆっくり伝える等)

C:「はっきり言ったほうがいい」

C:「○○と◇◇みたいに"と"と単語の間に入れたほうが いい

5. 伝言ミッション 3 分間

| | 回目 動物 (うさぎ いぬ かめ らいおん いるか)

2回目 食べ物 (おにぎり うどん いちご からあげ)

3回目 学校にあるもの (えんぴつ けしごむ はさみ)

※4の作戦タイムに戻って再度取り組む。

ک

6.振り返りを発表する。

☆友達と話し合いをしてより伝言 ができるように考えることがで きたか (行動観察)

O丁寧な言葉使いで話し合いがで きるように適切な伝え方を教師 が伝えながら話し合いを進め る。

〇話し合うことを決めておき、ホ ワイトボードに明示しておく。

〇意見を伝えた児童に対して理由 を聞き、話し合いが深まるよう にする。

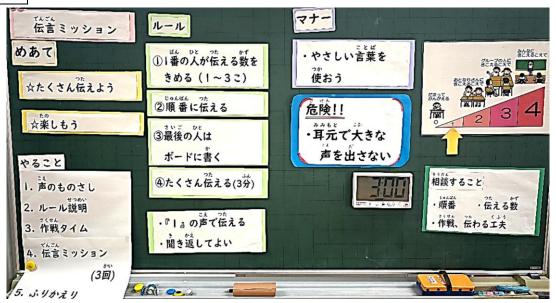
O最後の番の人はホワイトボード に答えを書くので書くことが得 意な児童がやることを勧める。

☆活動を楽しむことができたか (行動観察)

〇残り時間を伝える。

○担当教員と確認し、苦手な児童 でも発表できるようにする。

板書計画



展 開

配置図 現金 1 4 現金 6 4

